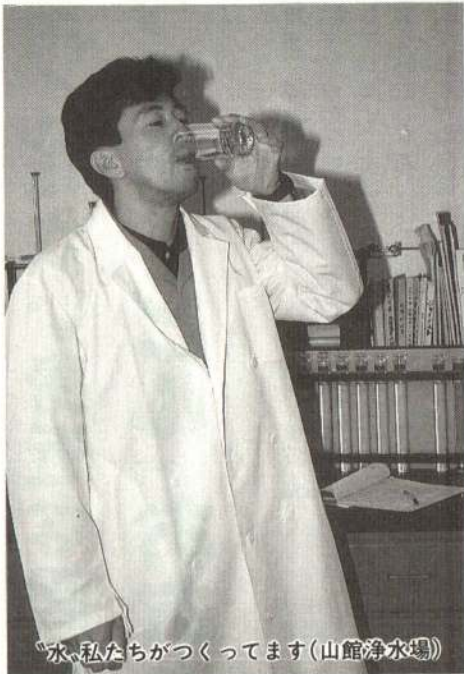


『安心です おいしいです 水道の水です』



「水、私たちがつくっています(山館浄水場)」

あんまり身近すぎて、意識されないものってありますよね。「水、もその中のひとつだと思います。6月1日から7日までは「水道週間」。水道のこと、水のこと、少しだけ考えてみませんか。

1日平均使用量
9600 m³

大館市に上水道が通ったのは昭和三十一年のこと。長根山下の長木川のそばに井戸を掘り、水を汲み上げて作りました。その後、まちが大きくなっていろいろな仕事が増えるにつれ、使う水の量が増えたため、昭和五十四年からは米代川の水も汲み上げて使っています。

市内で一日に使われる水の量は平均約九千六百立方メートル。井戸から汲み上げているのが一日約四千八百立方メートルで、あとは米代川の水でまかなっています。現状でほしい半分以上の割合です。

米代川から汲み上げられた水は、山館浄水場できれいな水に変えられ、各配水池に送られた

のち、長い配水管、給水管を通じて皆さんのところまでたどりつきます。井戸水の方は、長根山配水池で米代川からの水と合流、つまりブレンドされて送られています。

市の水道には、この上水道のほかに、わき水や沢水などを利用した簡易水道(九カ所)もあって、上水道と簡易水道の使用人口は、合計五万六千人ほどになっています。

市の水道水っておいしいの？

水道のしくみ、大体お分かりいただけたいと思います。

さて、皆さんは水のおいしさについて考えてみたことはありませんか？ 水道は今や全国で九五%の普及率で、どこの水はおいしく感じますか？

水はどうか？ 市の水道水はどうか？ 市のおいしい水はどうか？

「快適に、安心して飲む水」がおいしい水の第一条件だと言えますが、おいしいというのは非常に感覚的なことで個人差があります。その上、天気や体調、水温などにも左右されるといいますから、ここでは厚生省の「おいしい水研究会」がまと

上水道のあらまし (平成3年度)

| | |
|---------------|-----------------------|
| 水道水使用人口 | 49,261人 |
| 1日使用量 最大 | 15,070 m ³ |
| 平均 | 9,603 m ³ |
| 1人の1日使用量 | 195 l |
| (ふつうの浴槽の約2/3) | |
| 1日に作ることのできる水量 | 25,400 m ³ |
| 配水管の総延長 | 250.1 km |

めた「おいしい水道水」の水質要件の数値をもとに比較してみよう。この数値は、利き水試験の結果を参考に、アンケート調査などで「おいしい」とされた全国の水道水の水質を解析したものです。

要件のうち、蒸発残留物(ミネラル含有量)、硬度(ミネラルのうちカルシウムとマグネシウムの量)、遊離炭酸(溶け込んでいる炭酸ガスの量)は水をおいしくする成分。過マンガン酸カリウム消費量、臭気度は水の味を損う成分です。ミネラルを適度に含んでいるとコクのあるまろやかな味に、また炭酸ガスが十分溶け込んでいると新鮮でさわやかな味になります。この炭酸ガスは、地下水に多く含まれているんです。

「おいしい水道水」の水質要件と市の水道水との比較

| 水質要件 | 「おいしい水」 | 市の水道水 |
|---------------|------------|-------------|
| 蒸発残留物 | 30~200mg/l | 66mg/l |
| 硬度 | 10~100mg/l | 23.4mg/l |
| 遊離炭酸 | 3~30mg/l | — |
| 過マンガン酸カリウム消費量 | 3mg/l以下 | 0.7mg/l |
| 臭気度 | 3以下 | 異常なし |
| 残留塩素 | 0.4mg/l以下 | 0.3~0.7mg/l |
| 水温 | 20度C以下 | 3~23度 |

右の表をみると、味を損う成分が極めて少ないですから、市の水は結構おいしいんじゃないでしょうか。あと、水道水を一度煮沸して冷やすといいたそうなんです。実は、少し古いデータになりますが、研究会が昭和六十年に発表した、おいしい水道水の水質要件に適合している都市(人口五万人以上)の中に大館市も入っているんですよ。

便利な水道、安心して飲めるおいしい水、そして大切な水のこと、たまには考えてみてください。

〇〇水道料金の納入には、便利で安全な口座振替をご利用ください〇〇

お申し込みは、預(貯)金通帳、印鑑、水道料金の領収書か検針票をご持参のうえ、金融機関の窓口へどうぞ。